

学年	高校2年	教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	5
教科書名	詳説 日本史 B (山川出版)			副教材名	新詳日本史 (浜島書店) 改訂版詳録新日本史史料集成 (第一学習社) 日本史総合テスト改訂版 (山川出版) 日本史用語集改訂版 (山川出版)		
コース・クラス	スポーツ、芸能						

I. 目標

1. 国際社会に生きる日本国民の一人として自国の歴史への理解を深め、その知識理解をもって、平和で民主的な国家や社会を維持・発展させる資質の育成を目指す。
2. 各時代の価値観や社会の在り方を学び、物事を多面的に捉える力と、現在の国際社会を自らの視点で見通す力を養う。
3. 3年次の基礎学力到達度テストを目標に、大学入学共通テストにも挑戦できる学力の育成を目指し、発展的な内容にも対応していける力の素地を養う。

II. 授業のねらい

1. 基礎的な知識事項の定着を図り、通史への理解を図ることを主目的に、各自が時代の概観を説明できる力を養う。
2. 教科書、資料集を活用しながら、基礎知識を活用する方法、情報を分析できる論理的思考力を高めることで、資料集や教科書レベルの史料にしっかり対応していける力を養う。

III. 授業の進め方

1. 歴史上の出来事における因果関係と、その結果の影響についての解説を重視する。
2. ICT教材を活用し、資料(史料、各種グラフなど)の読解をおこなう。
3. 単元ごとに小テストを行い、基礎知識の定着をはかる。
4. 各単元の始めに時代の概説を行い、全体像へのイメージをもってから授業を進める。また各時代の最後に、政治史を振り返りながら文化史を扱っていく。

IV. 学習上の留意点

1. 多くの情報を整理しポイントを絞った復習ができるよう、メモをとる習慣を身につける。
2. 学習が用語の暗記に終わらないように、各単元、まずは概要を掴むように学習して通史の軸をつくること。その後細かい知識をおさえていくように留意すること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 文化の始まり ~ 律令国家への道
1学期 期末試験 : 平城京の時代 ~ 地方政治の展開と武士
2学期 中間試験 : 院政と平氏の台頭 ~ 鎌倉文化
2学期 期末試験 : 室町幕府の成立 ~ 戦国大名の登場
3学期 学年末試験 : 織豊政権 ~ 幕藩体制の成立

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物(課題)などの総合評価

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	学習内容
一学期	4	第1章 日本文化のあけぼの 文化の始まり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 旧石器・縄文・弥生それぞれの時代の特徴を、特に資料集の記載事項を軸に掴み、各時代への転換点を理解する。 原始社会が農耕の開始をきっかけに大きく変化し、やがて国家形成へと進んでいく過程を理解する。 中国史書における日本に関する各種史料を読み解き、当時の日本の様子を理解する。
	5	第2章 律令国家の形成 飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ヤマト政権と東アジアとの関わりを理解する。古墳時代の変遷をヤマト政権の成立と結びつけ理解する。 律令体制の基本構造を把握し、古代日本が目指した国家の在り方を考える。
	6	平安王朝の形成	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 律令体制がなぜ行き詰まったのかを考える。また、日本的律令体制を実現するための政治改革を理解する。
	7	第3章 貴族政治と国風文化 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	提出物	<ul style="list-style-type: none"> 天皇家と藤原氏との関わり、藤原北家が摂関政治を確立するまでの過程を理解する。また、関係する各種史料を読み解き、貴族政治の特徴を考える。
			期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 武士誕生のきっかけを摂関政治の展開とともに理解する。
	二学期	9	第4章 中世社会の成立 院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会	小テスト 提出物
10		蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	中間試験	<ul style="list-style-type: none"> 元寇を境に鎌倉幕府が衰えた過程とその原因を理解する。また、建武の新政がなぜ短期間で崩壊したのかを考える。
11		第5章 武家社会の成長 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 室町幕府の仕組み、足利将軍家と諸大名との関係を理解する。南北朝の動乱が長期化した原因を理解し、武家社会の変容を考える。 惣村の形成と一揆の頻発、応仁の乱による戦国時代の始まりを俯瞰し、共通点から時代の特徴を考える。また、日本の伝統文化と室町時代の関係性を考える。
12			期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 応仁の乱後の秩序の崩壊と再構成に視点をあてながら、それが可能となった背景を確認し、中世社会から近世社会へ変化する様子を理解していく。
三学期	1	第6章 幕藩体制の確立 織豊政権 桃山文化	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> 織豊政権による統一過程、特色、意義を理解する。また、西洋と日本が接近した世界史的背景についてみていく。
	2	幕藩体制の成立	提出物	<ul style="list-style-type: none"> 太閤検地によって荘園制が解体されたことを背景に踏まえ、幕藩体制の形成について理解を深めていく。
	3		学年末試験	

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。